



平成23年度

同窓会総会・懇親会

西南学院高等学校同窓会会報

福岡 6月18日(土) 18:30~

会場：ホテルニューオータニ博多

本年も東京で開催を予定していましたが「関東支部総会」は、延期となりました。開催日は決まり次第、同窓会ホームページ等にてお知らせします。

「粋」、それは、身なりや振る舞いが洗練され、格好良いと感じられることです。

私たちは、心身共に洗練され、社会に貢献し、世間に必要とされるような、そんな格好良い「粋」な人間でありたい。

そして、同窓会・懇親会という場で、固い絆で結ばれた素晴らしい西南学院高等学校の諸先輩方、同級生、後輩の皆さんと交流することで、より一層「粋」に輝き



母校の発展とともに成長し続けたい。

このような思いを込めまして、今年度の同窓会総会・懇親会のテーマを「粋」といたしました。

(今年度当番幹事「賛西会」趣意書より)

今年の当番は、平成3年卒業生です。

発行：平成23年4月1日

発行者：広報委員会



関東支部長 井手 隆司 (昭四七年卒)

は色々な意味で、そんな同窓生の気軽な受け皿になるべく、そして関東にいる同窓生同士をつなぐ要になりたいと思いつつでも皆さんに門戸を開いています。宜しくお願いいたします。

昨年とは念願であった関東支部の立ち上げが出来ました。これも幹事となってくれた関東在住の同窓生と現同窓会会長である河津氏の熱い思いのお陰であること心より感謝します。当日は予想を上回る二〇〇名超の参加者で、会場は和やかに笑顔溢れる会でした。

我等西南卒も若い世代になるほど、関東へ進出し、活躍する人が益々増えていきます。関東支部



同窓会会長 河津 善博 (昭四七年卒)

展のために、役員の方々と一致協力し、邁進していきたいと存じます。皆様のご理解とご協力を切にお願いいたします。

昨年とは念願であった関東支部が発会しました。この支部がきつと関東周辺で活躍する同窓の受け皿になってくれるように。

新緑の候、皆様ますますご活躍のことと存じます。今年から本会報誌は紙面を拡大し、更に充実した内容で皆様にお届けします。少しでも多くの同窓生情報を発信すべく広報委員の皆様が頑張ってくれています。



「賛西会」代表幹事 中田 篤志

二〇一一年度の同窓会総会・懇親会は、平成三年卒業「賛西会」が当番幹事を務めさせていただきます。私たち賛西会は、この当番幹事という大役を務めさせて頂くことで、同級生との絆が日々を追うごとに強くなってあります。諸先輩方が培われてこられた素晴らしい伝統を受け継ぎ、次代の後輩の皆様へ伝えていくべく、頂いた縁に感謝し、また今年度のテーマにもございしますが、『粋』に感じて頂けるよう、来たる六月十八日の総会・懇親会に向けて、全力で当番幹事の責務を全うする所存でございます。

同窓生の皆様、関係者の皆様の暖かいご指導・ご鞭撻、ご支援のほど宜しくお願い致します。

このたびの大地震、大津波、そして原子力発電所の損傷に伴い被災され、不自由で辛い生活を強いられておられるみなさま、同窓生各位に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈り申し上げます。

平成二十三年四月

- 西南学院高等学校同窓会
- 会長 河津善博 (昭四七年)
 - 副会長 川上仁志 (昭四八年)
 - 副会長 市丸信敏 (昭四九年)
 - 副会長 松原照明 (昭五〇年)
 - 副会長 江副裕紀 (昭五一年)
 - 副会長 川崎俊雄 (昭五二年)
 - 専務理事 張光陽 (昭五三年)
 - 評議員 張光陽 (昭五三年)

同窓生の集い 学年を越えた西南の集まり

銀風会(夢創り応援隊)

銀風会とは西南高校卒業生を中心とするボランティア団体です。昭四六年卒から平一〇年卒まで、西南卒以外の方を合わせると総勢百十五名の団体です。

現在の活動は「ホークスカップ中学生軟式野球大会」の企画・運営です。この大会はNPO法人ホークスユニオアカデミー主催、福岡市と福岡市教育委員会の共催事業で、福岡市内の中学校野球部、クラブチームが参加、参加選手は二〇〇〇名を超え、開会式、決勝戦、閉会式をヤフドームで行います。

大会の主役は、勿論、選手である子供たちです。子供が頑張る姿、キラキラ輝く目、喜ぶ表情...これこそ全世界共通の輝く宝物。私達は、子供達に「一懸命と感動そして夢を与えよう」を理念に、子供達が素晴らしい金色に輝くために、銀の風となって吹き続けてあげたいと思っています。

同窓生が中心となり、全国でも類を見ない大きな大会の運営を通して、子供たちの頑張る姿、喜ぶ顔を見れるのは最高です！

その他、ドームでの団体観戦やバーベキュー等交流会も活発です。銀風会は誰でもWelcome。皆様も一度、感動の体感をされませんか？ご参加をお待ちしております。



銀風会会長 津田敏道(昭五八年卒)

歴代当番幹事事務局長の集い

毎年の総会・懇親会を担当する当番幹事。そのなかであまり表に出ていないものの、総会に向けた準備の全体を把握し、準備に向けた打合せや会合で使用する資料を準備したりと、意外と忙しく、苦労もする事務局長。

そういつ同じ苦労をしてきた歴代当番幹事の事務局長が一同に集い、苦労話や思い出話、その他もろもろの話しながら楽しいひとときを過ごす集いが毎年開催されています。

この集いが始まったのは、平成十六年。これまでに七回開催されています。開催されるのは、毎年十月。この時期に開催されるのも、理由があります。この会は、歴代事務局長の懇親の場であるとともに、その年の総会を担当した当番幹事事務局長の「お疲れさん」と来年の総会を担当する当番幹事事務局長の激励会も兼ねているのです。今年の当番が後処理も終わり一段落し、次の当番も役割分担が概ねできる十月に開催されています。

同窓会のなかで、たまたま同じ役割を担ったという縁を大切に、これからもこの会を盛り上げていきたいと思っています。今年も、平成三年卒と平成四年卒の事務局長を迎え、十月に開催予定です。



北九州の集い

昨年の十二月八日、JR小倉駅の上にある「ステーションホテル小倉」にて、西南北九州の集いを開催しました。当日は、北九州に勤務している、北九州に住んでいるといつ昭和五七年〜平成九年までの計十一名が集いました。

北九州では、小倉高校、東筑高校といった地元・伝統校出身者も多く、仕事などで、西南高校卒業生と出会うこともあまりありません。そういうなか、徐々に、西南卒同士の話ができ、校舎のごチャペルのこと、先生のこと、同窓生のごこと、西新のごこと、バッチのごことなど西南ワールドが展開されました。

会も終わりに近づいた頃、参加者の一人が一枚の紙を配り始めました。そこには、校歌が書かれていました。まさかとは思いましたが、やはり西南同窓会の締めは、校歌の斉唱のようです。幸いその時間にはまわりに他の客もいなかったのでもみんで歌って盛会のうちに終わることができました。

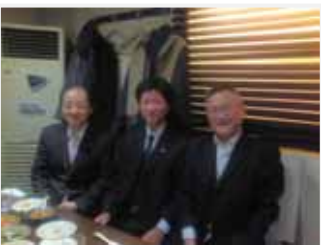


上海の集いで「ドージャーズ」

昨年の万国博覧会を大成功に収め世界の中心として躍動する中国・上海。領事館への登録人数が五万人を越え、今や海外でいちばん多くの日本人が暮らす街となった。その上海でこのほどついに西南学院高校OB会が結成されました。会の名前は、学院の創立者であるドージャー先生に敬意を表し、建学の精神に則った奉仕の精神で日中友好の礎になることの意を込めて「ドージャーズ」と命名。定期的アッセンブリー(例会)に集い親睦を深めています。(現在の会員数十二名)

写真は一月二十四日に開催された「第二回アッセンブリー」(下)及び二月二十二日に松原副会長を交えての模様(上)。中国経済の中心地である上海においては、日本人同士の交流もビジネスが中心ですが、当会において仕事の話は皆無。懐かしい先生方や西新の昔話についても盛り上がっています。上海にお越しの際はぜひお声がけください。「ピータン豆腐」を着用し一杯飲みましょう！

連絡先(伊佐平元卒) shanghai.seinan.okds@aho.co.jp



同窓生紹介 活躍する西南



卒業後、西南大へ。大学卒業後は、RKBのアナウンサーに。ラジオ、テレビの人気番組を担当。1997年退職し、現在はフリーとして活躍中。

「高校の頃」 中村 基樹 昭和三五年卒

松の緑 青春の色」と西南の校歌そのままに、当時の校舎の回りは松林の中にあつた。校門をくぐる、鳥の絡まるチャペルの建物。その東側の砂地を踏みながら南北にのびる木造の校舎に入る。松林はかつてこの場所が百道の浜辺であつた名残り。防砂林の跡なのだ。

青春真只中と表現してもよい高校時代。私は無為無策。何をしてもなく、タラタラと日々を消化していきつゝ思う。そんな時、降つて沸いたように突然のフーズ。秋の体育祭の応援団長に指名されたのだ。おい、俺がかよつ。スパーツは得意ではなかつた当時、それはなによと断つても駄目。心を決めた。E組の応援団長。二、三三年生を率いての奮闘となつた。そこで決めたのが各種競技種目は捨て、ただ応援合戦だけは勝つ。の目標。すぐに美術部の級友に応援席を飾るバックボードを発注し、応援歌を替え歌で作り、応援スタイルを皆で考えていく。

体育祭当日を見せたかつたですね。応援団の真ん中にいる私。学生服に黄色のフーズ。団長だけは服の尻よりも長く垂らして、足には高下駄。自慢の大声をあげながら、応援の所作を行う。ひと声毎にE組全員がひとつになつて私の指示通りに動く。やたら偉くなつたよつて、こんな気持ちのいいものはありません。アイデアのひとつひとつも見事決まり演舞終了。応援合戦勝利のしびれた一日でした。

しかし、世の中、ままならぬものですね。この日の私の勇姿(笑)が手元に証拠として全く残つていない。その、写真がないのです。当時は今と違って写真はすべて撮るといふことがなかつたのもあるけれど、誰か撮つてくれても、と残念至極。でも、自分の心の映像には、貴重な一枚として残つていて。昭和三十四年秋のこと。高校三年間で最も燃えた一日の想ひだ。

「ぎゅーはく」紹介

たいぶ 祐爾 昭和四八年卒

九州国立博物館は、二〇〇五年開館後の五年間で来館者は八百万人を超えた。関係者誰一人として想像もしていなかつた数字で、本当に多くの方々を受け入れていただいた証と考えている。

当館は、日本とアジアの美術、仏教美術、日本美術を扱う東京、奈良と京都の国立博物館に続く四番目の国立博物館である。アジアを初めとする諸外国との交流を通して育まれてきたわが国の歴史を、アジア史的観点から捉えるという構想の下に生まれ、四階の「文化交流展示室」で旧石器時代から江戸時代末期の開国までを扱う。

福岡近辺は、中世までに限つても、後漢書記載の金印(五七年)が下賜された倭国、遠の朝廷としての宮家と大宰府政庁(御府楼跡)、鴻臚館、また元寇防壁といった歴史上の史蹟を多く抱え、古くより文化交流の最前線で、それ故に大宰府の地に「ぎゅーはく」が設けられる大きな意味がある。

特別展および小企画(トピック展)を多数開催し、いつ来ても何か新しいものが展示され、市民に開かれた博物館「生きている博物館」を目指している。細部まで鮮明な画像の大画面スライドビジョン映像が人気を集めるほか、日曜日には、人数限定で、免震層、収蔵庫や文化財修復施設を見学できるバックヤードツアーを実施し、展示以外の博物館の役割を広く紹介している。さまざまな場面でボランティアが活躍し、体験型のおじいばもその協力なくしてはありえない。

卒業後、三つの大学で美術史を学び、東京国立博物館から当館に異動し、シルクロードの美術と文化および仏教美術の研究を続けている。キリスト教も中東で生まれ、ヨーロッパを経由して世界に拡がり、九州福岡の地で西南学院の基本理念として根付いた。こうした歴史のつながりを実感するために、何度か「ぎゅーはく」に足を運び、ボランティアになっていただきたい。



卒業後、ICU国際基督教大学、ルーヴァンカトリック大学(ベルギー王国)、九州大学で美術史を学び、東京国立博物館から九州国立博物館に異動。現職は学芸部文化財課長。



卒業後、明治大学文学部演劇科入学。当初は製作する側を目指していたが、自らも俳優を目指すようになる。その後は国内外の舞台、テレビドラマ、映画、Vシネマ、CMなどに多数出演。

劇団「西南座」? 松重豊(昭和五六年卒)

あまりねえ、い思い出が無いんですよ。高校時代勉強にも部活にも恋にも遊びにも。公立滑つて入った学校だし、おまけに男子校だし。そのくせ思春期特有の自意識の強さから友達も出来やしない。福岡から抜け出すことばかりを考えていた暗い二年間でした。卒業して上京しても、高校時代の「となんか思い出したり、口に出したこともなかつたですよ。

ま、その後、ひょんなことから役者の仕事を始めてしまった訳ですが(大きく略)、ある時、NHKの大河ドラマのリハサル室でのごと。隣に座られていた陣内孝則先輩にですね、お声をかけしました。「自分、西南の後輩です」とね。既に大スターの先輩に、なんや、お前、西南や」と。渋谷のNHKで博多弁で気さくに答える先輩。それ以後、大変可愛がっていただきました。先輩が監督された映画にも二本とも出させていただきました。いやあ持つべき物は素晴らしい出身校じゃないかと。

偉大な先輩がいると、やはり続々と後輩たちもこの世界にやつてまいりまして。シヨジヨバといふコンテンツグループにいた坂田聡君やライアーゲームで一気に認知度の上がつた鈴木浩介君なんかも西南学院出身者だといふことがわかりました。それならいそ、西南学院出身者だけで劇団でも作るつじやないかと陣内先輩が提案されたのです。なんと、ミラクルの井上芳雄君も巻き込み、西南出身五人衆で劇団「西南座」の旗揚げだ。大スターと若手スター、中堅と若手の我ら三人。いいハンなんじゃないの。西南座。旗揚げ公演はもちろんなんてチャペル、とか旧チャペル、とか。その後「博多座」から東京進出!なんてね。楽しい空想を五人で語り合ったのが一年前。いかにせんブローチャーがないので未だ実現に至ってませんが。卒業生の皆様、応援よろしくお願いいたします。

「西南に感謝!」

岩切(旧姓 水池)かおり 平成九年卒

共学最初の年の私たちは、真新しいグリーンの制服に身を包み西南学院高校に入学しました。個性的な先生方、自由な校風、おこやかなチャペルなど、西南でふれるすべてのものが目新しくキラキラ輝いていたのをよく覚えてます。

林間学校や体育祭も思い出ですが、先生方の授業と友達と和気あいあいとした教室での日々が一番の思い出です。

今年の初め、三年生のときのクラスの友達とお世話になった先生と一緒に食事をし、昔と今の話に花を咲かせました。共学一期生の私たちは先生方にも印象深かつたよつてよく覚えてくださいました。本当に嬉しかつたです。

現在、鹿児島県在住の私は今の西南の生徒を見かけることもないので、普段は西南のことを思い出さずつかげがありません。

そんな私がふと思いつくのは、キリスト教について見聞きするときです。ニュース映画、小説、旅行先などでキリスト教の文化は世界中で溢れています。でも私たち日本人は初詣でやお払いのために神社に行き、葬儀や法事ではお寺や僧侶にお世話になるのに、キリスト教、教会に接する機会といつのは意外と少ないのです。

世界で起つている紛争がどういつ宗教上の問題で起きているのかなんとなく分かつた。映画や小説の登場人物の行動が理解できたり、旅行先で有名な教会などを観光してもその歴史的背景が少し分かつたりします。

西南の聖書やチャペルの時間でキリスト教にふれてきたことで、世界の第一宗教キリスト教の考え方を少しでも感じることができるようになった。そんな西南の教育にはとても感謝しております。



卒業後、福岡大学経済学部へ。大学卒業後、ロイヤルホールディングス(株)に入社。退社後結婚、現在は鹿児島県に在住。



卒業後、山口大学農学部へ。獣医師となり、長崎県の家畜保健衛生所に勤務。

「高校生活を振り返って」 寺山 好美(平成十二年卒)

今回、この会報の寄稿依頼を受け、あら、私は何年に高校を卒業したのだったか?と振り返ってみたら、卒業してははや十一年も経つたのです。月日が経つのは本当に早いものです。

現在、私は山口大学農学部獣医学科を卒業しまして獣医師となり、長崎県の家畜保健衛生所で勤務しています。今年、宮崎県で発生し、大きな話題となった口蹄疫や鳥インフルエンザといった家畜伝染病の侵入防止のため、微力ながらも頑張っている毎日です。

さて、今回、高校生活を振り返つて...このことですが、思い返すと、私の高校生活は勉強そつちのけで部活動に明け暮れていました。

フランス下部に所属していた私は、トランプを片手に、泣いて笑つて喧嘩して怒られて反省して最後には皆で感動しました。振り返るとちゃんと青春していたのですね...

今では新校舎になり、私が通つた学舎はずりありませんが、私のなかの西南学院高校は今もあのチャペルのそばにあります。次の帰省時には懐かしい顔を見に、ちょっと覗いてみようかな...

<http://www.swhob.net/>

同窓会の公式ホームページです。今年の総会・懇親会の内容やその他同窓会に関する最新情報を掲載しています。是非ご覧下さい。

また、「ご意見箱」を設けています。ご意見、ご要望など遠慮なくどうぞ。

広報委員会

特集：「母校は今・・・」

我らが母校、西南学院高等学校は、共学となって15年。新校舎になり、百道へ移って7年となりました。昨年4月には、小学校も開校しました。以前の、男子校時代、西新校舎時代の卒業生からみれば、ずいぶんと変わったなあとと思われることでしょう。今回の特集は、いまの母校の様子をごく一部ですが、お伝えします。

現在の母校周辺(西南学院小学校ホームページより)



皆さん、お元気ですか。西南学院は創立95周年を迎え、100周年事業推進室が立ち上げられ、キャッチフレーズは「Thanks&Next!」、サブテーマが「一粒の麦から、次の100年に向かって」と決まりました。昨年、小学校が隣に開校し、また大学に心理学部の設置が決まり、新たな歩みに向かって準備が整いつつあります。高校は434名が卒業し、同窓生の数は23,526名となり、部活動、進学実績において「教育の西南」をアピールすることができました。

中学校・高等学校校長
伊原幹治



校門



食堂



吹き抜け・図書室



チャペル



書道部による文化祭でのパフォーマンス

2010年(平成22年度)入試合格者

国立大学				私立大学			
東京大学	1	筑波大学	2	早稲田大学	23	同志社大学	36
京都大学	4	九州工業大学	16	慶応大学	10	立命館大学	55
大阪大学	5	横浜国立大学	3	上智大学	5	立教大学	18
一橋大学	3	熊本大学	6	中央大学	26	東京理科大学	23
九州大学	47	福岡教育大学	7	西南学院大学	176	明治大学	27

2010年度クラブ成績

ヨット部	インターハイ出場(女子FJ級)
書道部	全国高校総合文化祭出場
写真部	全国高校総合文化祭出場

母校の詳しい状況や新しい情報は、高校のホームページをご覧ください。

<http://www.seinan.ed.jp/hs/>